

## 1 令和4・5年期 協議テーマの設定について

### ● これからのひきこもり支援について

<ひきこもり支援におけるリアルとバーチャルの最適な組み合わせによる居場所及び自己肯定感をはぐくむ支援のあり方について>

●令和4・5年期協議会・部会では、子ども・若者に関する今日的な諸課題を反映したテーマについて、様々な視点から県子ども・若者行政に係る検討を行い、調査協議の内容を県の施策立案にかかる参考(重要)として活用する。

## 2 協議内容

### ●これからのひきこもり支援について

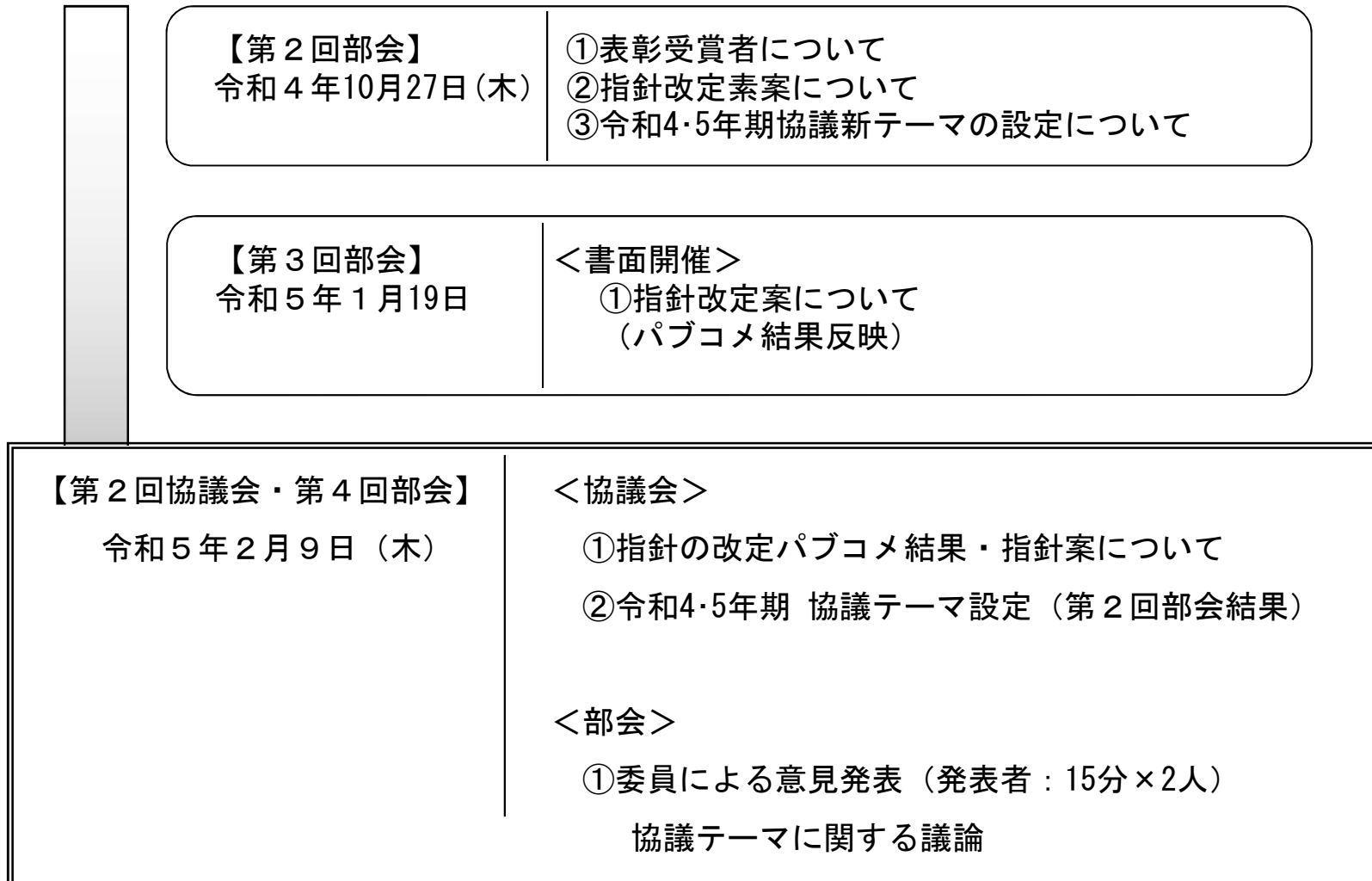
～ ひきこもり支援におけるリアルとバーチャルの最適な組み合わせによる居場所  
及び自己肯定感をはぐくむ支援のあり方について ～

- ・若者のひきこもりを長期化させないため、行政や地域における支援のあり方について検討する。
- ・人との対面が困難なひきこもりの子ども・若者の居場所を、リアルとバーチャルの両面から支援のあり方について検討する。
- ・外に出ることが難しい当事者への新たな支援の形の検討  
(デジタル技術を活用した相談窓口の周知や、メタバースなどオンライン上の居場所を作るなど)
- ・自分の将来について希望を持てるよう、自己肯定感をはぐくむことも視野に入れる。

#### <施策イメージ>

- ・新たな相談窓口の手法・設置
- ・ひきこもり支援ポータルサイトの充実化
- ・メタバースにおける新たな居場所の設置・相談周知・新たな就労支援 など。

### 3 協議スケジュールについて（令和4年度）



### 3 協議スケジュールについて（令和5年度）

